

科目名	救急患者の フィジカルアセスメント（Ⅰ）	授業時間	単位
		30 時間 (15 コマ)	2 単位
科目のねらい・ 目 標	1. 生体の構造と機能等をふまえ、急性症状からみたフィジカルアセスメントを理解し、実践できる。 2. 小児・高齢者・妊産婦の特徴を捉えたフィジカルアセスメントを理解し、実践できる。		
回 数	内 容（方法）		
1-5	1. フィジカルアセスメントに必要な基本的知識 2. フィジカルアセスメントに必要な解剖生理とアセスメントへの活用方法		
6-8	1. 身体各部位のフィジカルイグザミネーション 1) 問診、視診、触診、打診、聴診 2) シミュレータによる事例演習		
9-12	1. 小児のフィジカルアセスメント 1) 子どもの成長・発達と小児患者の特徴や反応 2) 小児のフィジカルイグザミネーションとアセスメント 3) 小児患者に特徴的な症状とケア：発疹・発熱・喘息・痙攣など 4) 家族への対応や支援・指導：乳幼児突然死症候群・虐待など		
13	1. 高齢者のフィジカルアセスメント 1) 老化の概念 2) 老化による生理的变化 3) 高齢看護の基礎 4) フィジカルアセスメント上の留意点 5) 高齢者救急医療の特徴		
14-15	1. 妊産婦のフィジカルアセスメント 1) 産科看護の基礎（正常妊娠と分娩、母体変化 など） 2) 妊産婦のフィジカルイグザミネーションとアセスメント 3) 産科救急医療の特徴 4) 救急搬送となる妊産婦の異常とその対処 5) 妊産婦の外傷初期診療の特徴とその対応		
評 価	筆記試験		
テキスト			
参考文献	1. ベイツ診察法 メディカルサイエンスインターナショナル、2008 2. マクギーの身体診断学診断と治療社；改訂第2版（2014/4/30） 3. 臨床実践フィジカルアセスメント—急変対応力10倍アップ南江堂（2012/05） 4. 荒木勤：最新産科学異常編、文光堂、2008. 5. 島田信宏：周産期医療に必要な救急処置とケアポイント、メディカ出版1998. 6. 北川道弘：産科救急の初期診療、永井書店、2008. 7. 救急集中治療<21-9・10>産科救急Q&A、総合医学社、2009.		